



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月25日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	41,854	1.2	334	40.4	400	38.5	209	70.6
2019年3月期	42,362	9.1	561	10.8	651	10.7	713	34.5

(注) 包括利益 2020年3月期 754百万円 (％) 2019年3月期 1,558百万円 (94.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	10.73		2.1	1.8	0.8
2019年3月期	36.45		7.5	2.9	1.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	21,280	9,456	44.4	483.09
2019年3月期	23,532	10,309	43.8	526.64

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,474百万円 2019年3月期 10,309百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	39	200	265	3,176
2019年3月期	623	53	323	3,685

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		5.00	5.00	97	13.7	1.0
2020年3月期		0.00		3.00	3.00	58	28.0	0.6
2021年3月期(予想)								

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 3円00銭

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 1円00銭

2021年3月期の配当予想については、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載していません。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

今期の連結業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難なため、記載していません。

合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	20,102,000 株	2019年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	526,954 株	2019年3月期	526,932 株
期中平均株式数	2020年3月期	19,575,009 株	2019年3月期	19,575,108 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	40,034	1.1	50	71.1	180	51.7	60	86.0
2019年3月期	40,478	9.3	175	4.9	372	0.6	430	21.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	3.09	
2019年3月期	22.00	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	21,510	9,469	44.0	483.77
2019年3月期	23,678	10,474	44.2	535.12

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,469百万円 2019年3月期 10,474百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績当の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	3
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調が続きしました。一方、消費増税による個人消費の低迷や米中通商問題の動向に加え、新型コロナウイルス感染拡大により、先行きは不透明な状況が続いております。

当スポーツ用品業界におきましては、健康志向の高まりに加え、ラグビーワールドカップ日本大会の開催や日本代表の活躍等により盛り上がりを見せ、堅調に推移しておりましたが、第4四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により各種スポーツイベントが中止され急速に減速しました。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化、②アスレチックビジネスの深化、③ライフスタイルビジネスの進化、④主力ブランドの再強化、⑤EC市場での多面的対応、⑥新事業・新商品・特に新規販路・新サービスの開発とチャレンジに取組み、「構造改革」として①利益率の向上、②経営の生産性の向上、③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化、②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

その結果、当連結会計年度の売上高は41,854百万円（前期比1.2%減）、営業利益は334百万円（前期比40.4%減）、経常利益は400百万円（前期比38.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は209百万円（前期比70.6%減）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットにおいては、上期まで堅調に推移していましたが、消費増税や異常気象により個人消費が低迷しました。また、第4四半期会計期間における新型コロナウイルス感染拡大防止による各種スポーツイベントの中止、臨時休校や部活動の自粛により販売活動が制限され、総じて低調に推移しました。

「ライフスタイル」マーケットにおいては、アウトドア用品は、人気の高まりが続いており好調に推移し、また、取扱ブランドの増加や販路拡大等により、カジュアルウェアやカジュアルシューズは堅調に推移しました。

「ボディケア」マーケットにおいては、低調に推移しました。

ライセンスビジネスは引き続き堅調に推移し、指定管理事業も新たな体育施設等の指定管理者に選定されており堅調に推移しました。

この結果、売上高は40,070百万円（前期比1.1%減）となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益力の高い企業体質を構築し、企業価値向上に努めました。野球・ソフトボール用品は、オーダーグラブが引き続き堅調に推移しました。また、キャッチャー用防具やユニフォーム昇華プリントが高評価を得ましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により海外で生産される商品の入荷遅延等もあり低調に推移しました。

「コンバース」のバスケットボール用品は、ホームページのリニューアルするなど販促活動に努めましたが、総じて低調に推移しました。

この結果、売上高は281百万円（前期比19.5%減）となりました。

(小売部門)

小売部門は、店頭において2019年12月に大阪店の移転に伴い取扱商品の拡充により来店者増加に努めましたが、秋以降は例年より気温が高く推移し、また、第4四半期会計期間においては、新型コロナウイルスの感染拡大による来店者は大幅に減少した等により低調に推移しました。登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」は、堅調に推移しました。

この結果、売上高は447百万円（前年比1.4%増）となりました。

(その他部門)

物流部門は、前期からの外部受託業務における取扱いの増加により、堅調に推移しました。

スポーツ施設運営部門は、プログラムの充実やトレーニングマシンの導入による顧客満足度向上に努めましたが、近隣の競合店との競争激化が続いている中、第4四半期会計期間においては新型コロナウイルスの感染拡大防止により施設利用の制限、休会者の増加したことにより低調に推移しました。

この結果、売上高は1,054百万円（前年比1.1%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は21,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,252百万円減少いたしました。

流動資産は16,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ875百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が465百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が791百万円及び現金及び預金が509百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,376百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が35百万円増加したものの、投資有価証券が1,388百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は11,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,399百万円減少いたしました。

流動負債は10,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ691百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が401百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1,099百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は1,587百万円となり、前連結会計年度末に比べ708百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債が402百万円及び長期未払金が255百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は9,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ852百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が112百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が967百万円減少したこと等によるものであります。

この結果自己資本比率は44.4%となり、前連結会計年度末に比べ0.6ポイント増となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により39百万円使用し、投資活動により200百万円使用し、財務活動により265百万円使用した結果、当連結会計年度末における残高は3,176百万円となり、前連結会計年度末に比べ509百万円減少いたしました。

営業活動の結果、使用した資金は39百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益332百万円、売上債権の減少997百万円があったものの、仕入債務の減少697百万円、たな卸資産の増加438百万円及び法人税等の支払額183百万円があったこと等によるものであります。

投資活動の結果、使用した資金は200百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出115百万円、無形固定資産の取得による支出53百万円があったこと等によるものであります。

財務活動の結果、使用した資金は265百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出127百万円、配当金の支払額96百万円があったこと等によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	38.4	38.8	41.8	43.8	44.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	13.8	17.2	23.1	19.1	15.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.3	1.3	5.1	1.2	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	105.0	295.9	137.3	450.3	—

(注) 自己資本比率

: 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率

: 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率

: 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ

: 営業キャッシュ・フロー／利払い

*各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

*株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

*営業キャッシュ・フローは、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

*2020年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの終息時期を見通すことが困難であり、緊急事態宣言による臨時休校や部活動の自粛、各種スポーツイベントの中止が続いており、また、取引先における経営状況の変化による売上の減少等により、当社グループにおける業績及び財政状態にも大きな影響が出ることが予想されます。これらのことから現時点において今後の経済活動に与える影響を見通すことが困難な状況にあります。

2021年3月期の連結業績予想については、上記の影響を精査中であり、現時点で合理的な算出が困難なため未定といたします。今後、合理的な連結業績予想の算出が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,985	3,476
受取手形及び売掛金	8,799	8,008
電子記録債権	1,021	815
商品及び製品	3,398	3,858
仕掛品	50	53
原材料及び貯蔵品	143	119
その他	145	361
貸倒引当金	△59	△84
流動資産合計	17,485	16,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,885	2,890
減価償却累計額	△2,152	△2,183
建物及び構築物 (純額)	733	707
土地	1,228	1,228
その他	835	921
減価償却累計額	△717	△741
その他 (純額)	118	180
有形固定資産合計	2,080	2,115
無形固定資産		
その他	87	118
無形固定資産合計	87	118
投資その他の資産		
投資有価証券	3,191	1,802
長期貸付金	16	13
敷金	247	220
その他	509	473
貸倒引当金	△85	△73
投資その他の資産合計	3,879	2,436
固定資産合計	6,047	4,671
資産合計	23,532	21,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,674	5,575
電子記録債務	2,904	3,305
短期借入金	127	81
未払法人税等	159	16
未払消費税等	112	68
賞与引当金	221	214
返品調整引当金	68	50
その他	659	925
流動負債合計	10,928	10,237
固定負債		
長期借入金	81	—
繰延税金負債	696	294
退職給付に係る負債	359	335
長期未払金	267	11
その他	890	945
固定負債合計	2,295	1,587
負債合計	13,223	11,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,475	4,587
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,374	8,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,934	966
繰延ヘッジ損益	4	9
為替換算調整勘定	11	8
退職給付に係る調整累計額	△16	△14
その他の包括利益累計額合計	1,934	969
純資産合計	10,309	9,456
負債純資産合計	23,532	21,280

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	42,362	41,854
売上原価	34,298	33,840
売上総利益	8,063	8,014
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	562	589
運賃及び荷造費	798	843
賃借料	258	297
役員報酬及び給料手当	2,989	3,026
貸倒引当金繰入額	24	24
賞与引当金繰入額	206	199
減価償却費	126	135
その他	2,535	2,563
販売費及び一般管理費合計	7,502	7,679
営業利益	561	334
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	44	36
受取賃貸料	19	22
業務受託料	17	10
保険解約返戻金	9	1
その他	38	32
営業外収益合計	132	106
営業外費用		
支払利息	1	0
売上割引	36	36
その他	5	3
営業外費用合計	42	40
経常利益	651	400
特別損失		
減損損失	—	61
投資有価証券評価損	—	7
特別損失合計	—	68
税金等調整前当期純利益	651	332
法人税、住民税及び事業税	156	62
法人税等調整額	△218	59
法人税等合計	△61	122
当期純利益	713	209
親会社株主に帰属する当期純利益	713	209

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	713	209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	832	△967
繰延ヘッジ損益	19	4
為替換算調整勘定	△8	△2
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	844	△964
包括利益	1,558	△754
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,558	△754

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	3,839	△74	7,739
当期変動額					
剰余金の配当			△78		△78
親会社株主に帰属する当期純利益			713		713
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	635	△0	635
当期末残高	1,005	2,968	4,475	△74	8,374

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,101	△14	20	△17	1,089	8,828
当期変動額						
剰余金の配当						△78
親会社株主に帰属する当期純利益						713
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	832	19	△8	1	844	844
当期変動額合計	832	19	△8	1	844	1,480
当期末残高	1,934	4	11	△16	1,934	10,309

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,005	2,968	4,475	△74	8,374
当期変動額					
剰余金の配当			△97		△97
親会社株主に帰属する当期純利益			209		209
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		0	0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	112	△0	112
当期末残高	1,005	2,968	4,587	△74	8,486

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,934	4	11	△16	1,934	10,309
当期変動額						
剰余金の配当						△97
親会社株主に帰属する当期純利益						209
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△967	4	△2	1	△964	△964
当期変動額合計	△967	4	△2	1	△964	△852
当期末残高	966	9	8	△14	969	9,456

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	651	332
減価償却費	130	140
減損損失	—	61
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17	12
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	△6
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	19	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	△23
受取利息及び受取配当金	△47	△38
支払利息	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△850	997
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△90	△438
仕入債務の増減額 (△は減少)	769	△697
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75	△44
その他	91	△169
小計	630	106
利息及び配当金の受取額	47	38
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△53	△183
営業活動によるキャッシュ・フロー	623	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34	△115
無形固定資産の取得による支出	△19	△53
投資有価証券の取得による支出	△7	△15
貸付けによる支出	△2	△3
貸付金の回収による収入	10	6
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
その他	—	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△200	△127
配当金の支払額	△77	△96
その他	△44	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323	△265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237	△509
現金及び現金同等物の期首残高	3,447	3,685
現金及び現金同等物の期末残高	3,685	3,176

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	526.64円	1株当たり純資産額	483.09円
1株当たり当期純利益	36.45円	1株当たり当期純利益	10.73円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式がないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式がないため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

区分	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	713	209
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (百万円)	713	209
期中平均株式数 (千株)	19,575	19,575

(重要な後発事象)

該当事項はありません。